

【子育て談話室】テーマ：無償の愛

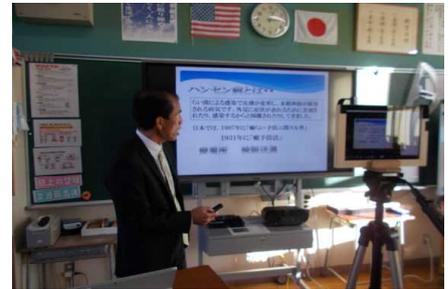
子育てをしていると、「無事に生まれてくれさえすれば良い」と願い、無事に生まれてきてくれた我が子であるはずなのに、いつの間にか他の子と比較したり、よりすぐれた成果を求めたりし、叱咤激励の叱咤の部分が多くなりがちなものです。それは、最愛の我が子だからこそ、より幸せな人生を歩んで欲しいと願うからであり、当然のことです。しかし、それと同時に、本来の「無償の愛」も感じながら子育てができれば、心もより豊かになるのではないのでしょうか。下の詩は、私が県教委で子育ての講演会をしているときに作詞作曲した歌の詩です。（昨年度も活用いたしました。）年末年始はお子様と一緒に過ごす時間も増えます。歌詞の中にあるような、我が子への無償の愛を感じていただければ幸いです。



真つ赤な夕日を背にして
家路を急ぐ鳥たちよ
この素直な思い伝えておくれ
今を大事に生きている
今を必死に生きている
わかってる わかってる
いつもいつの時も
見守っているから
もっともっと頑張れって
もっともっと頑張れって
十分だよ 十分だよ
いつもいつの時も
頑張っているから
あの頃のように
小さい頃のように
抱きしめたいよ
抱きしめたいよ
何よりも誰よりも
大切な君だから
自由に飛び鳥のように
あなたが世界に羽ばたく日を
願って 夢見て
共に歩こう
失敗しても 辛くても
あなたは世界に羽ばたくから
自分を信じて
あなたはあなただから
今 一つ言えること
それはあなたが
大切だと言ったこと

◆校長先生の人権特別講座が行われました！

12月3日6校時に、校長先生より「人権特別講座」が行われました。校長先生が栃木県教育委員会に勤務しているときに、人権教育を担当しており、その際に訪問した岡山県にあるハンセン病の療養施設における体験談を話していただきました。Zoomによる講話でしたが、生徒たちはテレビ画面を食い入るように見つめ、多くのことを感じてくれました。講話の最後に、ハンセン病の悲惨な歴史から、「違いを認める力」「真実を見極める力」「人をいとおしむ力」を身に付けてほしいとお話がありました。以下にいくつか生徒の感想を載せておきます。



【生徒の感想より（抜粋）】

○ハンセン病になってひどい扱いをされても、自分以外の人のことを大切に思っていることが素敵だなと思った。ちょっと辛い思いをしたからこそ、苦しんでいる人の気持ちを理解して、人を愛おしむことができたらと思う。と思った。
○ハンセン病だけでなく、コロナやがんなどで苦しんでいる人がたくさんいるということがわかった。実際には同じ人間なのに差別をしたり、冷たく接したりすることは人間としておかしいと思う。だから、私はこれからもずっとみんなと同じように接していこうと思う。

◆校内美化活動（落ち葉掃き）を実施しました！

12月10日（金）の6校時目に校内美化活動（落ち葉掃き）が行われました。全校一斉の落ち葉掃きで校庭や自転車小屋周辺はもちろん、田野街道沿いの道路まできれいに落ち葉を掃くことができました。また、8名の学校支援ボランティアの保護者の方も生徒と一緒に活動したり、バラの剪定をしたりなどの活動をしていただきました。ご協力ありがとうございました。



◆生徒会役員選挙立会演説会が行われました！

12月14日（火）の6校時目に生徒会役員選挙立候補者立会演説会が行われました。副会長立候補者8名、会長立候補者10名、計18名の生徒一人一人が目指す学校や公約などを堂々と演説しました。「過ぎやすい学校」「月曜日が待ち遠しい学校」「差別や偏見がゼロの学校」「一人一人を大切に学校」「一人一人が主役の学校」など立候補者が自分の目指す学校を全校生徒にしっかりと伝えました。

1、2年生は体育館、3年生は教室での開催となりましたが、立候補者の主張を生徒は真剣に耳を傾けていました。



◇校庭放射線量測定結果

12月16日（木）0.060 マイクロシーベルト